

事務事業評価表 平成23年度

政策 政策の総合推進
 施策 施策の総合推進その5
 基本事業 施策の総合推進その5

事業名 **市長杯記念品授与等経費**

[0591]

部名	総務部	事業開始年度	- 年度	実施計画事業認定	非対象
課名	総務課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	<p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <ul style="list-style-type: none"> 市に対して寄付を行った者 市長杯を受賞する者
意図	<p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <ul style="list-style-type: none"> 寄付を行った者に対し感謝の意を表す。 市長杯の出賞を行うことにより スポーツ・文化の発展を図る。
手段	<p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <ul style="list-style-type: none"> 市に寄付を行った者に対し 感謝状等を贈る。 10万円以上の寄付者に対しては、記念品も贈る。 市内で開催される大会において市長杯の出賞の要請があった場合、その大会の主旨等を勘案し出賞する。

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度当初
対象指標1	寄付者数	人	33	18	38	18
対象指標2	市長杯受賞者数	人	2	4	1	4
活動指標1	感謝状贈呈数	人	30	18	47	18
活動指標2	市長杯出賞数	人	2	4	1	4
成果指標1	感謝状等贈呈数	人	30	18	47	18
成果指標2	市長杯出賞数	人	2	4	1	4
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	63	42	85	136
正職員人件費 (B)		千円	418	415	403	407
総事業費 (A) + (B)		千円	481	457	488	543

費用内訳	
22年度	報償費 85千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始 背景		事業を 取り巻く 環境変化	スポーツ・文化等の各種大会が実施され、そのなかで市長杯を賞として設定するケースがあり、参加者の意識の高揚のために有効であると考えられる。
------------	--	---------------------	--

22年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

- 義務的事務事業
- 妥当である
- 妥当性が低い

理由
・
根拠は？

市に対する寄付に感謝の意を表すものであり、市が行うことには妥当性がある。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

- 貢献度大きい
- 貢献度ふつう
- 貢献度小さい
- 基礎的事務事業

理由
・
根拠は？

市に対する寄付に感謝の意を表すものであり、市が行うことには妥当性がある。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

- あがっている
- どちらかといえばあがっている
- あがらない

理由
・
根拠は？

市に対する寄付に感謝の意を表し、また市長杯等の授与を行うことにより、市民の意識の高揚が図られている。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

- 成果向上余地 大
- 成果向上余地 中
- 成果向上余地 小・なし

理由
・
根拠は？

寄付に対する賞や市長杯等の授与は、予測が困難である。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

- ある
- ない

理由
・
根拠は？

費用対効果を念頭に贈呈品の選定を行なう